日露の経済発展の架け橋に

ARUJI GATE証券株式会社
代表取締役社長
二階堂 イリーナ氏

日本企業のロシア進出をお手伝い

近年法人・個人を問わずロシア関連の事業を行うケースが増えてきている。

何といっても代表的なのは、サハリン1と2の油田・天然ガス開発プロジェクトである。情勢が不安定な中東へエネルギーを依存する日本にとって、サハリンプロジェクトはエネルギー安全保障の観点から極めて重要な位置付けとなっている。なお、当プロジェクトには、伊藤忠や丸紅、三井物産や三菱商事など、日本を代表する商社が出資している。

天然資源のプロジェクトはゆうに10年単位の期間を要し、サハリンプロジェクトも同様で、プロジェクトスタートは1980年代、実際に原油生産が始まったのはそれから10年以上たった1990年代である。原油生産に至るまでには様々な障壁が存在する。パートナー会社の選択、入札、フィージビリティスタディ、現地会社設立、契約という流れを超長期のスパンで実施することになる。

これだけ長い期間のプロジェクトでは、予期せぬ出来事に見舞われることが当たり前である。特に「ロシア」という国は日本では馴染みの薄い文化・習慣を持っており、トラブルには事欠かない。例えばコミュニケーションにおいて「あうんの呼吸」はタブーである。無言実行を美徳とする日本と、言葉によるコミュニケーションを重視するロシアとでは、共通認識を持つに至るまで大変な苦労を伴う。また、「和を以って貴し」と為す日本と、ハイリスクハイリターン/スピードを重視するロシアとでは、信頼関係を築くまでに時間を要するし、意思決定までに要する時間感覚の相違から、交渉が決裂してしまうことも少なくない。

こうした場合は、やはり日本とロシア双方のことをよく理解している専門家が間に入ることが欠かせない。優秀なパートナーを選んだ日本企業はやはり成功している。M&Aや投資銀行業務に長けた日本企業は多いが、ロシア人～日本人間の微妙な人間関係をコントロールできる能力と、コミュニケーション能力を持った人材は、それほど多くないというのが、弊社の認識である。

弊社の強みは、何といっても代表取締役を始めとして、ロシアと日本の文化の違いや、ロシア人～日本人間でありがちなトラブル解決に実績のある社員を数多く有していることである。

弊社は社名にもある通り、証券業を営む企業であるが、ロシアとのビジネスを希望されるお客様からの要望を受け、日本企業様向けの投資銀行サービスを開始した。ロシア進出を考えておられる日本企業様のサポート及びロシア企業のM&A斡旋に注力している。

これまで弊社は、ロシア進出に関してご相談をいただいてきたが、実に多くの企業様がロシア進出を踏み出せないでいると感じている。理由は、いくつか考えられるが、何といっても文化の違いに躊躇していること、そしてそれを補う信頼に足る人材が見つからないことであると感じている。

弊社は日露の架け橋足りうる社員と実績を数多く有している。ロシア進出をお考えで、現地との折衝や仲介のパートナーをお探しの企業様は、弊社までお問合せいただきたい。弊社の人材、ノウハウ、経験、全て投入し、企業様のロシア進出をご支援させていただく所存である。